

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	生けがきづくり奨励事業			事業開始年度	平成 8年度		
担当課	建設部 都市整備課		担当者	鈴木 教史			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	02	魅力ある良好な市域の形成				
	基本事業	01	良好な街並み・景観の形成				
事業の目的	生けがきの設置により緑化を図り、緑あふれるまちづくりに寄与する。						
事業の概要	一定基準を満たしたもので新規・更新は工事費の1/2、5万円を限度に補助。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	125		87		200	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	成果	整備された生けがきの延長	m	214	257	287	
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	整備延長が前年度より43m伸びた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	桜の郷づくり事業			事業開始年度	平成19年度		
担当課	総合政策部 総合政策課			担当者	岡田 慎		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	02	魅力ある良好な市域の形成				
	基本事業	01	良好な街並み・景観の形成				
事業の目的	さくら市の資源である「桜」への意識高揚を図り、市民と行政の協働による“桜の郷づくり”を進める。						
事業の概要	市民を対象に・桜学び講座・桜守体験を開催し、講座で学んだことを活かし、地域の桜を地域住民で保存、継承する。桜を地域で植栽し育てる。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	17,446		20,066		22,542	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	成果	桜の郷づくり事業に参加した市民の数	人	170	144	200	200
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明						
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小			業務量	●拡大 ○現状 ○縮小	

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	空家等対策事業			事業開始年度	令和元年度		
担当課	建設部 都市整備課		担当者	鈴木 教史			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	02	魅力ある良好な市域の形成				
	基本事業	01	良好な街並み・景観の形成				
事業の目的	空家等対策を総合的に実施し、市民等の生命や財産に対する被害を防止することにより、安心安全な生活環境を確保するとともに、空家等の利活用による活性化を目的とする。						
事業の概要	空家等対策審議会の実施や特定空家に対する解体費用の補助、空家等情報バンクの利用促進。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	311		652		2,618	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	成果	空家等除却費及び空家バンク利用促進補助、特定空家等認定件数	件	1	4	5	6
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	空き家等情報バンク利用促進補助金を利用し、空家売買件数 3件。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	氏家駅東地区魅力向上事業			事業開始年度	令和 2年度		
担当課	建設部 都市整備課		担当者	鈴木 教史			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	02	魅力ある良好な市域の形成				
	基本事業	01	良好な街並み・景観の形成				
事業の目的	氏家駅東地区は、都市の発展を牽引する重要な地区として位置づけられ、J R氏家駅や駅前商業地としての特性を活かした賑わいや魅力を促進する事業を検討する。						
事業の概要	氏家駅東地区の特徴や課題を踏まえ、住民参画のもと、市の発展と市民や来街者にとって魅力ある街なか形成のまちづくりに寄与する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		0		7,986	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	成果	氏家駅東口周辺の利便・安全・賑わいに満足している市民の割合	%		26.3	26.8	27.3
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	地区内の土地建物所有者への意向調査(郵送によるアンケート)、現地踏査に基づく環境評価と課題の抽出・整理を実施。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	区画整理事務			事業開始年度	平成26年度		
担当課	建設部 都市整備課		担当者	磯藤 靖明			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	02	魅力ある良好な市域の形成				
	基本事業	02	定住・転入の促進				
事業の目的	保留地販売の促進。						
事業の概要	各種広告媒体等によるPR。 販売紹介手数料の支給や販売促進交付金の交付。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	4,549		4,816		3,991	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	成果	当該年度に販売した保留地の区画数	区画数	10	13	5	
			区画数				
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	計画は9区画の販売を予定していたが、新規販売（第20期公売）6区画となり、結果的に2区画の販売となった。新規販売分としては、3割相当を売却。新規販売以外では、11区画を売却した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ○現状 ●縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	上阿久津台地土地区画整理事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	建設部 都市整備課		担当者	磯藤 靖明			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	02	魅力ある良好な市域の形成				
	基本事業	02	定住・転入の促進				
事業の目的	機能的で魅力ある都市空間の創出。 安全・安心で快適に暮らせる居住環境の形成。						
事業の概要	事業遂行に向けての工事および業務委託、並びに各種補償を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	103,135		106,709		130,884	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	活動	全体整備率	%	91	91.3		
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	難航していた移転補償交渉において地権者に合意を得られた。令和2～3年度において移転工事が完了となる為、工事発注を見合わせた結果、目標整備面積を達成する事が困難となった。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	結婚支援事業			事業開始年度	平成28年度		
担当課	総合政策部 総合政策課			担当者	岡田 慎		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	02	魅力ある良好な市域の形成				
	基本事業	02	定住・転入の促進				
事業の目的	結婚を望むが出会いが無い独身男女の結婚の希望をかなえる						
事業の概要	結婚を望むが出会いが無い独身男女に対して、婚活スキルアップ講座、婚活イベントを実施し、男女の出会いの場を提供することで結婚への機運を醸成する						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	1,490		652		4,054	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	成果	婚活イベント参加者数	人	44	0	80	80
	成果	婚活イベントにおけるカップル成立数	組	11	0	25	25
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のためイベントを中止した。また、結婚支援制度の拡充として、「とちぎ結婚支援センター登録補助金」を開始した。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小			業務量	○拡大 ●現状 ○縮小	

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	移住推進事業			事業開始年度	平成27年度		
担当課	総合政策部 総合政策課			担当者	南部 仁志		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	02	魅力ある良好な市域の形成				
	基本事業	02	定住・転入の促進				
事業の目的	さくら市のPR等を行うことで本市への移住を推進し人口増加を目指す。						
事業の概要	本市での暮らしをPRするセミナーの実施や市が滞在用の住居を借上げ、移住検討者に滞在してもらい本市の生活を体験してもらう。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	1,740		1,353		4,288	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	成果	滞在した世帯の数	世帯	1	1	4	4
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	令和2年度は、1組2名が利用。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小			業務量	○拡大 ●現状 ○縮小	

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	お丸山公園等再生計画事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	建設部 都市整備課		担当者	岡本 崇男			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	02	魅力ある良好な市域の形成				
	基本事業	03	みどりの憩い空間の形成				
事業の目的	適切な維持管理をすることにより、市民が安全で安心して利用できる公園とする。						
事業の概要	除草、防除、樹木剪定						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	17,926		10,812		18,421	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	活動	草刈・伐採等を実施した面積	ha	4.3	4.3	4.3	4.3
	成果	補植された桜の本数	本	34	0	0	0
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	草刈（4.3ha）を実施した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	草川用水環境保全補助事業			事業開始年度	平成 9年度		
担当課	総合政策部 総合政策課		担当者	岡田 慎			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	02	魅力ある良好な市域の形成				
	基本事業	03	みどりの憩い空間の形成				
事業の目的	草川・水と緑の散歩道周辺生活環境の美化を維持するとともに市民や市外の訪問客が同散歩道を利用しやすい環境を作る。						
事業の概要	市が一部景観を整備した草川用水は鬼怒川東部土地改良区が管理。その法面の環境保全作業（除草作業）に要する経費の30%を東部土地改良区に対し補助金として交付。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	107		122		180	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	活動	作業実施日数	日	2	2	2	2
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明						
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	鬼怒川河川公園管理事業			事業開始年度	平成29年度		
担当課	建設部 都市整備課		担当者	岡本 崇男			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	02	魅力ある良好な市域の形成				
	基本事業	03	みどりの憩い空間の形成				
事業の目的	適切な維持管理をすることにより、市民が安全で安心して利用できる公園とする。						
事業の概要	芝刈、除草、防除、樹木剪定、トイレの清掃 施設等の保守点検、修繕						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	16,427		25,721		17,809	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	活動	草刈・伐採等を実施した面積	ha	14.8	14.8	14.8	14.8
	成果	公園施設の点検数	個	39	39	39	39
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	草刈・伐採等（14.8ha）及び公園施設の点検（39個）を実施した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	都市公園管理事業			事業開始年度	平成29年度		
担当課	建設部 都市整備課		担当者	岡本 崇男			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	02	魅力ある良好な市域の形成				
	基本事業	03	みどりの憩い空間の形成				
事業の目的	適切な維持管理をすることにより、市民が安全で安心して利用できる公園とする。						
事業の概要	芝刈、除草、防除、樹木剪定、トイレの清掃 施設等の保守点検、修繕、更新						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	45,826		65,541		104,237	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	活動	草刈・伐採等を実施した公園の数	箇所	21	21	21	21
	成果	公園施設の点検数	個	143	219	219	219
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	草刈・伐採等（21箇所）及び公園施設の点検（219個）を実施した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	地籍調査事業			事業開始年度	昭和49年度		
担当課	産業経済部 農政課		担当者	大嶋 友明			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	02	魅力ある良好な市域の形成				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	土地トラブル防止、公正課税、成果の数値情報化による電算管理がされ利便性が向上する。又、公共事業等の正確な計画策定、災害時等の土地境界の復元等が可能となる。						
事業の概要	負担金交付申請→県・市における実施地区公示→地元説明会→境界立会→一筆地測量→閲覧→地籍図、地籍簿作成→国への認証請求→認証済地区の地籍図、地籍簿の法務局送付						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	1年度		2年度		3年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	11,739		10,750		12,913	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	1年度 実績	2年度 実績	3年度 計画	4年度 計画
	成果	地籍調査完了面積	K㎡	64.67	64.84	64.92	65.03
	成果	数値情報化完了面積	K㎡	57.19	57.19	57.58	57.58
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	国土調査法に基づき諸工程を実施し、年度末の県の確認検査までに完了となった。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		